

自己評価結果票

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして、「OPENNESS～開かれたホーム創り」というコンセプトを作っており、事務所内ではホームの理念を掲げ、いつでもスタッフの目につくようにしている。新しいスタッフが入職してきた際、必ずはじめにホームの理念を読み、話しをしている。	○	ホームのコンセプトをまだ全スタッフに知らせることが出来ていないことと、コンセプトを理解したケアを全スタッフが心掛けることが出来るように意識の向上に努めていきたい。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送りやミーティング、勉強会を利用して理念を共有できる場を設けている。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域参加は少しずつではあるが増えつつある。ご家族様とも、もっと密に交流を深め、理解していただけるよう取り組んでいくことはまだまだ課題にあがっている。	○	ご家族様や地域の方々ともっと交流を深めることができるような取り組みをしていけなかないといけない。行事やイベントの呼びかけなど。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会に参加をしたり、自治会主催のイベントに場所の提供や参加をしている。去年は屋上を使ってビアガーデンをし、近所の方々に来ていただいたり、ボランティアの方に来ていただき銭太鼓を披露していただいた際も近所の方々をお呼びし、近所のグループホームの利用者様にも来ていただいたり交流を持つことができた。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	月に1回の自治会に参加し、自治会主催の行事ごとにも会場を提供し、参加もしている。去年は屋上を使ってビアガーデンをし、近所の方々に来ていただいたり、ボランティアの方に来ていただき銭太鼓を披露していただいた際も近所の方々をお呼びし、近所のグループホームの利用者様にも来ていただいたり交流を持つことができた。	○	気軽に地域の方々に来ていただける行事などを定期的に行えるようにしていきたい。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	話し合いは度々行っているが、実際には取り組みがなかなか行われていないように思う。	○	話し合いだけで終わらずに実践できるように、計画を立てていきたい。その為にはもっと地域の方々と交流を深めないといけない。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、勉強会やミーティングの場を利用して、全員で話し合い、意義を理解し、具体的な改善の発見や改善に取り組むことができている。	○	自己評価は全員で改善等の話し合いが出来ていたが、第三者評価の結果の話し合いは、正社員・常勤者しかできていなかった為、全スタッフと結果などについて理解や改善の話し合いをしていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で、運営の状況やホームの取り組んでいることなどを発表し、会議に参加されている方々からも意見をいただき、それを参考にサービスの向上に取り組んでいる。又、他のグループホームの運営推進会議にも参加させていただき、いろいろな取り組み方法も学べる機会がある。		
9	○市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	あんしんすこやかセンターの職員とはボランティアの相談等、していただき運営推進会議以外でも比較的交流はできている。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	必要に応じて活用できる体制はとれており、過去には成年後見制度を活用された方がいた。	○	職員全員が学ぶ機会を設けておらず、知らないスタッフも実際にいたため、学ぶ機会を設けて、活用できる支援も行っていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止法の勉強会も行った上で、ホーム長、主任が中心となり個人的に指導もしており、全スタッフが周知し、理解出来るように徹底した指導をおこなっている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得	契約時には必ず、理解が得られるように十分な説明を行い、疑問点、ご不安な点も尋ねている。		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	ご家族様には契約時に、苦情相談窓口の説明を行い、重要事項説明書にも明示している。各階の入り口には意見箱の設置もしている。	○	利用者様がいつでも意見や苦情、相談ができるような環境作りには取り組んでいいるがもっと意見を出しやすい場所や環境を作っていきたい。
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	ご家族様が面会に来られた際に、細かい出来事の報告や健康状態など報告は行っており、月に1回のホーム便りでも報告は行っている。特に健康状態に関しては細かなことでも連絡、報告を行い相談など行っている。	○	面会が少ないご家族様とはどうしても連絡や報告のやりとりが少ない為、十分ではないように思える。定期的に連絡がとれたりできるような個々に合わせた取り組みを今後していきたい。
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	ご家族様には契約時に、苦情相談窓口の説明を行い、重要事項説明書にも明示し、各階の入り口には意見箱の設置もしているが、まだまだ不十分であるように思う。	○	ご家族様がもっと気軽に意見が出来るような方法を取り入れていきたい。(定期的にハガキや手紙などを利用すると、手間ではあるが、意見を言いやすくなるのではないかな等)それだけでなく、直接話すことのできる環境作りにも取り組んでいきたい。
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	年に一回運営者が職員の面接を行ったり、ホーム長が月に1回職員の面接をし、相談、意見、要望を聞ける場を設けている。		
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	ご家族様や、ご入居者様の状況の変化や要望に柔軟な対応が出来るように職員を確保している。		
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>会社のレクリエーションを年間に計画したり、職員の面接や評価制度を導入し離職などのダメージを最小限に抑えられるように考えている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくを進めている</p>	<p>外部研修では事務所のボードに用紙を貼って参加を促したり月に1回にユニット合同の勉強会、毎朝申し送りごとに5～10分の勉強会を設けるなど学べる機会の場を作っている。今年からホーム独自で作成し、プリセプターシップを行っている。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>去年は「丸山福祉まつり」の実行委員として参加させていただき、同業者と交流する機会を多く持つことが出来た。小地域ネットワーク連絡会議にも毎回参加させていただいている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>会社での行事として年に数回のレクリエーションを実施し、バーベキューや忘年会などストレスを少しでも軽減できるような取り組みが行われている。ホームの1階には疲れを癒せるようにマッサージ器を設置している。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>ホーム事務所には「サンクスBOX」を設置し、ホーム長が管理し、まとめて小さい手紙に変えてスタッフに手渡したり、年に2回の評価制度を設け、適切に個々を評価し、向上心を持って働くことができるように努めている。</p>		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	日々、暮らしの中でご利用者様から、困っていることや不安なことを聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。聴くだけでなく、表情や様子を見て想いを感じ取れるように努めている。	○	今以上にもっと沢山の想いや意見を言っていたりける環境作りに力を入れていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前は見学や契約の際にご不安に思っていることや困っていること、ホームへの要望を聞き、入居後も聴く機会をつくり受け止め、改善できる部分は改善するように努めている。		
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	介護保険のサービス、在宅サービス等の説明を充分行い、ケアマネージャーに連絡を行うなど必要な支援の相談を行っている。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用者様が納得してサービスを利用していただけるようご家族様やスタッフと十分な話し合いを行い入居に至るまでの生活歴や馴染みの言葉や物等細かな情報収集に努め、少しでも場の雰囲気に馴染めるように努力し工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者様主体のケアに努め、共に生活しながら利用者様から沢山学び、支え合いながら日常生活を一緒に過ごすことが出来ている。一緒に買い物に出かけたり、掃除を一緒にしながら方法を教えていただいたり料理を教えていただいたりとの関係が築けている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	個々に応じたホーム便りを作成し内容も個別に作成している。ホーム便りの内容でご家族の方とも会話が弾むようになってきた。面会に来られた際や、電話の際にも細かい生活の状況や健康状態も話している。		
29	○利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族構成や生活歴を聴き、利用者様とご家族様との関係に理解を深め、ご家族様と相談等を交えながら関係が築いていけるように支援している。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	生まれたときから現在に至るまでの生活歴を聞けるだけたくさん情報収集し、利用者様が大切にしている想いや馴染みの人や場所を知り、日々のケアに活かしている。又、日々の会話の中からも利用者様から聞き出し、馴染みのことが途切れないようにしている。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様同士の関係を細かく知り、それぞれの方が支え合える事が出来るよう努めている。(それぞれの得意分野を活かし支え合えるように努めている)		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所されて数年経っても訪問してきて下さるご家族様もあり、退所される際、いつでも相談に応じ、いつでも来ていただけることも伝えている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	常にご利用者様本意にケアができるように、入居前からご本人様、ご家族様から細かな情報収集を行い日々のケアの中でもコミュニケーションからの情報収集に努め、利用者様のしぐさや表情を観察したりし、希望や想いを少しでも知ることが出来るように努力している。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様には契約時に、苦情相談窓口の説明を行い、重要事項説明書にも明示し、各階の入り口には意見箱の設置もしているが、まだまだ不十分であるように思う。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居前には必ず利用者様の生活歴や馴染みの場所や馴染みの人、物、環境を細かく聞いたり、毎朝の申し送りやカンファレンスを行い、一人ひとりを把握し、安心して不安のない一日を過ごしていただけるように努めている。		
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様や利用者様と話し合い、意見を取り入れて作成を行っているが不十分な内容もある。	○	もっと密にご家族様と話し合う機会を持ち、もっと細かな計画作成をしていくことが課題にある。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の業務の中では見直しをしたりモニタリングも行っているが現状に即した新たな計画は数名不十分などところもある。	○	介護計画の見直しや状況に即した計画作成が全員出来るように徹底して取り組んでいかなければならない。

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活日誌や個人記録や個人の食事・水分摂取表・個人の排泄表を徹底して記入し、様子や気づきには申し送りノートに記入したりと情報の共有をはかっている。又、計画作成に基づいた用紙も用意し、介護計画の見直しに活かしている。	○	介護計画の見直しに活かしている記録用紙はまだ作成したばかりで始めたばかりのため、これから活かしていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている			
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者様は自治会に入会し、地域の行事や地域の消防訓練などにも参加している。ホームの1階では会場として自治会の方に使っていただいたり、外部より講師を招いて講習会をしたりボランティアの方に来ていただき催しをしたりしている。		
41	○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	家族の意向で医療保険を使ってデイケアを利用しているかたもいらっしゃる。必要に応じての支援の話し合い等はおこなっている。		
42	○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	小地域ネットワーク連絡会議へ参加し、交流を図ったり、運営推進会議ではあんしんすこやかセンターの職員が参加して下さり、意見を言っていたり協働できている。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医による月に2回の往診、月に2回の訪問看護を行いご家族や利用者様の希望に添いながら、利用者様の状態に応じて適切な医療機関の受診をいただいている。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の症状や状態に応じて、ご家族様、主治医と相談を行い、認知症専門医療機関の受診も行っている。		
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	月に2回訪問看護に来ていただき、日常の健康管理の相談等を気軽に出来る。訪問日以外でも電話で相談したり、必要な場合は訪問日以外でも対応していただいている。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院の場合、連携している病院は確保しているが、ご家族の希望や利用者様の要望も取り入れている。入院中はホームで出来るだけの支援を行い、入院先の主治医や看護師と相談しながら連携をはかり情報交換をおこなっている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者様の希望やご家族の希望を聴き、十分な話し合いの場を設けている。利用者様にとって一番何がいいのかを常に話し合い方針を決めていっている。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ご家族様や利用者様に、ホームの出来ることと出来ないことをしっかりと話し合い、納得していただき、少しでもより良く日々を過ごしていただけるように重度、終末のケアを行っている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えによるダメージを防ぐために、ご家族様や関係者の方に情報を交換するとともに情報提供書も細かい内容で作成している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	勉強会や、ミーティングを通して定期的に職員に指導している。個々に応じての言葉かけや対応法も細かく指導している。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日々のかかわりやコミュニケーションを大切にし、利用者様の希望を表せるように働きかけたりケアをする前には必ず説明をし、スタッフの自己判断で支援しないようにし、自己決定を大切に納得のいく生活を送っていただけるように努めている。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居前から生活歴や趣味や馴染みのある言葉などをご家族様から情報収集を行ったり、入居後も日々のケアの中から見つけ出し、一人ひとりのペースを大切に出来るように支援している。ケアをする前には必ず説明を行い、スタッフ側の勝手な判断は行わないようにしている。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの美容院がある方はそこへ出かけ、外出が困難な方には訪問美容を利用している。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるように個々の食事の好みを把握している。食事の準備や片付けなども可能な限りスタッフと共にやっている。日頃から「食べたいもの」を聴き、月に1回「リクエスト食の日」とし、前もって聴いていた食べたいメニューをとりあげて紹介して食べている。		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やたばこを希望する利用者様はいないが、毎週日曜日には晩酌の時間を設け、希望する利用者様にはお酒を飲んでいただいている。おやつも毎週日曜日には「手作りおやつの日」をつくり、利用者様とスタッフと一緒におやつを作り、作ったおやつを一緒に食べている。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	少しでも気持ちよく排泄が出来るように、個々に応じた排泄介助方法や言葉掛けを徹底し、排泄パターンも把握するために細かな記録の方法をとっている。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの入浴の曜日は決めてはいるが、基本的には毎日入浴の準備をしておき、個々の身体状況や利用者様の希望やタイミングを見て気持ちよく入浴していただけるように支援している。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々に応じて、生活パターン、行動パターン、睡眠パターンを把握したり、活動後は少し休んでいただくなど心身の状態を細かく観察し、夜もぐっすり眠っていただけるように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居前の生活歴の情報収集から入居してからでも、日々の生活や会話の中でそれぞれの役割を見つけ出し、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。掃除や、洗濯、料理、園芸、書道、裁縫など、それぞれの得意分野で分担してスタッフと共に生活できている。		


項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個々に合わせてご家族様と相談し、一人ひとりの希望に応じて使えるような機会も設けている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	行事での外出が比較的多いが、近くの公園に散歩に出かけたり、近くのスーパーに買い物や喫茶店で好きな物を注文したりと計画外で出かけることが少しずつ多くなってきた。	○	もっと、定期的に出かけたり、行きたいときにすぐに行けるような支援をもっと行っていきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かける機会をつくり、支援している	行きたい場所や、馴染みの場所を日頃から聴き、希望する場所へ可能な限り行っている。	○	ご家族様との外出は今まで一度も行ったことがないため、計画を立てて一緒に出かける機会を設けたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望される利用者様にはあらかじめご家族様と相談させていただき、いつでも電話をしたいときには電話が出来るように支援をしている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	行事ごとやイベントにはご家族様だけでなく、利用者様のご友人もお声を掛けさせていただいている。	○	もっと気軽にホームに訪問できるような働きかけが必要で、どんどん取り組みを話し合っていきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の外部研修にスタッフが行き、その後、伝達講習をしてスタッフと共に勉強する機会を設け身体拘束に関する理解を深め、参加できなかったスタッフは、後に、個別で勉強会を行っている。	○	1回きりではなく、今後も継続して身体拘束廃止への取り組みを行っていきたい。

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には鍵をかけないケアを実践しているが、各階の出入り口の木戸の扉は、開けるとすぐに階段があるためご家族様に話しをして鍵をかけている。ご入居者様には木戸に貼紙などを貼り少しでも抑圧感を感じないように努めている。	○	リスクマネジメントの勉強会を行い、鍵をかけない環境や方法を全スタッフと理解し合っていきたい。危険が伴い鍵をかけないといけない場合があっても、深く話し合い、危険回避の方法や抑圧感のない生活を支援していきたい。
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中は必ずスタッフがいないことを避け、プライバシーに配慮した様子や所在を見守ることができるように、個々の行動パターンを把握して見届けている。夜間はスタッフが一人ではあるが個々の状態に合わせた巡視も行っている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険であったり、注意が必要であると判断される物品がある際は、ご本人やご家族様に必ず伝え、相談し、個々に応じた対応で危険を防いでいる。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故を防ぐためにも、ヒヤリハットの投稿箱を設置し、事故防止の意識の向上に努めている。個々に応じた起こりうるリスクも予測し、申し送りや申し送りノートを利用し全スタッフに呼びかけなどの方法を行っている。	○	ヒヤリハットや申し送りだけでなく、日頃からリスクマネジメントについて勉強会をもっと行ったりし、スタッフの意識を高めていかないといけない。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	急変時の対応などは勉強会だけでなく日頃から個々に応じての対処、対応法を申し送りなどで行っている。又、緊急時に、あわてずに速やかに行動に移せるように電話の目の前に「緊急発生時の対応」「緊急時連絡網」を貼っている。	○	緊急対応マニュアルはあるが、もっと細かいマニュアルを作成し、個々の方に応じた対応やリスクを考え、緊急時に備えておかなければならない。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ホームでは年に2回消防訓練を行っている。災害に備えてホーム内の点検なども防火管理者が定期的に行っている。地域で行われる消防訓練には毎回参加しているが全スタッフや利用者様が参加できていない。	○	いざという時に備えて、災害に備えての協力を得られるように交流をもっと深めていかないといけない。

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	体調の変化や状態によってご家族様に連絡を行い説明・相談を行っている。入退院があった場合は必ず今後に向けての話し合いは行っている。	○	日頃より、ご家族ともっとこまめに連絡を行い、よりよい関係が築けるようにしていきたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	日頃の利用者様の状態をしっかりと把握し、少しの変化でも発見できるように、スタッフは日頃のかかわりも大切にし、普段の表情、顔色を常に観察している。出勤時には申し送りの前に必ず前日やそれ以前の記録に目を通してから勤務に入っている。	○	スタッフ全員が「気づき」のスキルアップができるように勉強会だけでなく他の方法でもどんどんと取り組んでいきたい。
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりが服用している薬の内容を把握し、追加等の変更があった場合は必ず申し送りし、申し送りノートにも記載し、服用後の様子など異常は見られないか等の利用者様の状態を記録するようにしている。誤薬防止のためにも、薬局で一人ひとりの薬を一包化してもらっている。		
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	毎日排便チェックを行っている。便秘がちな方には食事内容、水分量に特に気を配り、その他の方々にも日頃よりウォーキングや体を動かすことでの便秘予防を行っている。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、必ず口腔ケアを行い、個々に応じた口腔ケアを行っている。口腔ケアは非常に大切であるため、常にスタッフが側で見守りしている。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取表には細かい食事量や水分量を記入できるようになっており、水分に関しては何を飲用したかも記入するようにしている。摂取にムラがあったりした場合、必ず申し送りを徹底し、間で摂取していただいたりしている。又、それぞれのコップの底に容量を書いたシールを貼り、その方がどのくらい飲用したか把握出来るようにしている。		

項 目		事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対しては、勉強会だけでなく日頃からこまめにスタッフに声をかけたり気を配っている。食事前の手洗いやうがい、消毒などは徹底して行っている。感染予防のために、インフルエンザや、特に感染が起こりやすい時期には来客の方々にもご協力いただき、手洗い・うがい・消毒、場合によってはマスク着用も行っている。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食中毒の時期にかかわらず、常に食材には気を配り、食材委員会が特に責任を持ち全スタッフに呼びかけを行ったりしている。食材の保存方法にも気をつけ、いつでも新鮮な食材を保つようにしている。キッチンの掃除は毎日行い冷蔵庫内の整理や確認も行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先には花をたくさん育てて飾っており、通りすがりの人と気軽に話しができる距離である。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の五感を大切に、台所からは調理をしている姿や調理の音や、においが感じていただけるようになっていたり、季節感を感じていただく為に毎月、次月に向けてスタッフと利用者様と一緒に貼り絵を作成したり玄関・屋上・温室には季節の花や野菜を利用者様と共に育てている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングは一個所しかなく、独りになれるスペースを作ることが難しいため、ソファの位置を工夫したりし、くつろげる空間を作っている。廊下にはベンチを設置し独りになれたり2人きりで過ごせるスペースがある。		

項 目	事業所が示す、取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	今後、取り組んで ゆきたい項目に ○印を記入する	今後、取り組んでいきたい内容 (すでに着手していることも含めて)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前にご家族やご本人様から情報収集を行い、少しでも居心地良く過ごせることが出来るように馴染みの環境作りや思い入れのある品物などを持ってきていただいている。</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>毎朝換気を行い、天気の良い日や掃除の時も必ず換気を行っている。温度調節も常に気を配り、各居室やリビングにも数カ所温度計を設置しているが、それだけではなく、利用者様の心身の状態も把握し、一人ひとりに応じた適温をこまめに気を配っている。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホームにはエレベーターがないため、階段には昇降機を使用している。車椅子の方や歩行が困難な方には居室やテラスの出入りにスロープを設置している。</p>	○	<p>洗面所や、浴室にも手すりの設置等を検討していきたい。</p>
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>一人ひとりのわかる力を理解し、一人ずつの状態も把握し混乱や失敗を防ぐよう常にスタッフ同士でも話し合いをしている。リビングでは座席をわかりやすくしたり、居室ではその方に合わせて表札も高さ、色、大きさなどにも工夫をしている。</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ホームを出たらすぐ側に、公園がありいつでも公園を散歩できる。屋上には車椅子の方でも利用できるプランターを設置し、いつでも園芸を楽しんでいただける。また、屋上からの景色は素晴らしく、夏には神戸の花火大会もみることができる。</p>		

( 部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		事業所が示す、取り組みの成果 (該当する箇所の番号の前に○印をつける)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input checked="" type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)